



「14歳の挑戦」二日目。今回は石動中学校の山下均校長先生に取材をしました。

校長室に入り、最初に校長先生を見たときの印象は「怖そう」でしたが、質問していくうちに面白い先生だということが分かり、緊張が解れました。「私は、学校で一番元気な先生ですよ。」と自慢気な表情でした。

私たちと同じ小矢部市の中学校の校長先生。負けたくない学校は「やっぱり、同市の大谷、蟹谷、津沢かな。」まさか大谷まで意識されていたとは驚きです。「小矢部市の中学生はみんな素直で勉強ができて、良い子ばかりだよ。」

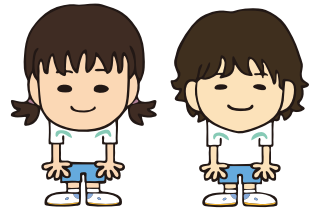
校長先生は、そんな中学生の頑張っている姿を見るのが何よりも大好きだそうで、「生徒が授業を受けている様子を見に行くこと」も、日課の一つにしています。

自分に負けるな!

石動中学校 山下 均 校長先生

No.71

この街で頑張る人、会社、団体を「人と人とのつながり」で紹介していきます。



大谷中学校 14歳の挑戦

この記事は14歳の挑戦の一環として大谷中学校の生徒が取材をして、記事を書きました。

中学生に負けないくらい元気な校長先生。それは小さなころから変わっていないようです。



「僕は足が速かったから家の周りや車の少ない道路でリレー遊びをしたり、寺の境内で鬼ごっことか、冬は雪山の上でスキーをしたんだ、暗くなるまで。」

今でも体を動かすのは大好きで、愛犬との散歩を毎日楽しんでるそうです。

「ロンっていうミニチュアダックスフンドを飼ってるんだけどね、人間年齢で80歳かな。毎日散歩に連れて行ってるよ、短い足でヨタヨタ歩くのが可愛いんだ。」

では、もしも崖から生徒と犬が落ちそうになったらどうするのでしょうか。

「僕だったら、崖の下に行つて受け止める。」おーい、いつでも落ちてきてもいいぞーってね。僕は身体が大きいから絶対に受け止められるよ。」

崖の下で助けるという解答をもらえとは思いませんでした。私だったら、どっちかを崖の上で助ける方法しか思いつかないのに、頭の柔らかい先生だと思いました。

そんな校長先生が憧れている人は、「上杉鷹山」という人。この人は自らが犠牲になつても、自分の藩の財政を立て直すために頑張った方なんだよ。」

「成せばなる 成さねばならぬ 何事も」という言葉はこの人が残した言葉だそうす。

「あと2年で定年退職なので、これからは、鷹山のように失敗を恐れず、自分を犠牲にしても人のためになることをしたい。失敗は成功のもとだから失敗してもいい、チャレンジしたい。」

「それが私の夢です。」とにっこり笑つておられました。



小矢部市立石動中学校
〒932-0046 富山県小矢部市観音町4番6号
TEL 0766-67-1171 FAX 0766-67-1172
isit@mel.tym.ed.jp

最後のありがとう集めでは「いつも私を温かく見守ってくれるみなさんに、心からありがとう!!」と、四色の文字で書いて貰いました。

元気な人がいっぱい石動中学校。その元気さは、山下校長先生から広がっているのかも知れません。

久しぶりの母校 独特の感覚と感情が 生まれました



店長の一言

小矢部市シンボルキャラクター「メルギョーくん」グッズの販売 地元のお店紹介・特産品のプレゼント企画を随時開催

Oyabe Local SHOP

流行のツイッター・ブログ プレゼントももらえる!

<http://www.startaro.com/shop/>

小矢部の人と人、人と企業、企業と企業の架け橋 北陸の十字路からの情報発信システム

Oyabe Local SNS

登録無料の小矢部部 最新情報をGET!!

<http://sns.startaro.com/>

口コミ情報、おもしろ情報を集めてメルマガ 「ありがとうプロジェクト」スタートしています

Oyabe Local Mail

前しがとつ实际的 大分開催中!!

<http://oyabelocalmail.blog27.fc2.com/>